

## 北海道高等学校文化連盟

### 第 11 回全道高等学校英語プレゼンテーションコンテスト 実施要項 (案)

- 1 主 催 北海道高等学校文化連盟国際交流専門部
- 2 当 番 校 北海道札幌東高等学校
- 3 期 日 **令和6年5月26(日)**
- 4 会 場 **札幌学院大学 新札幌キャンパス (札幌市厚別区厚別中央1条5丁目1-1)**
- 5 参加資格
  - ・北海道高文連に加盟する高等学校に在学する生徒。
  - ・英語を母語とする生徒と英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒(就学前の滞在は不問)はチームに1名までとする。
- 6 チーム構成
  - 1チーム3～9名まで。他校との合同チームも可とする。
  - ・1校からの参加生徒が10名以上の場合2チームの参加を認める。ただし1チームは5名以上とする。
  - ・1校からの参加生徒が19名以上の場合3チームの参加を認める。ただし1チームは6名以上とする。
  - ・ただし、機器等の操作だけを担当する生徒がいる場合は、その1名は発話をしなくても人数に含めて良いものとする。それ以外の生徒は必ず発話の機会を設けること。
- 7 内 容
  - (1) テーマ:「当該学校が所在する市町村を、次世代の子どもたちにとってより住みよい環境とするための施策」
    - ※「**次世代の子どもたち**」とは、**今年生まれる子どもが18歳になるまでの期間を指すものとする。その期間のすべて、またはある時期に焦点をあてて発表するかを決めて、プレゼンの中で明確にすること。**
    - ※「環境」とは自然環境、住環境、交通の便等も入るものとする。
    - ※現在の環境を改善する方策を一つ考え、提案すること。
    - ※提案先は当該学校が所属する市町村、及び関係団体を想定すること。
    - ※実際のデータ、現地の取材、インタビュー等多角的にリサーチをしてプレゼンテーションをすること。
    - ※現地の取材、インタビュー等を行う際は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底すること。
    - ※具体的にどのような広報を行うのか、また実施計画全体でどのくらいの費用がかかるのかについても触れること。
    - ※使用する資料・画像・映像などについては、著作権、著作権、使用許諾等を確認の上で使用すること。
  - (2) 制限時間: 8分 開始後8分経過したら2回振鈴し発表を中止する。  
(タイムキーパーが1分前で経過時間を掲示します)
  - (3) 発表方法: プレゼンソフトの使用を基本とすること(プレゼンソフトの種類は不問)。
    - ※使用言語は英語。プロジェクター・スクリーン・HDMI ケーブルは主催者側が準備しますが、コンピュータはご持参ください。また、持ち込み機材にHDMI ケーブルの差し込み口がない場合は、機材をつなぐ変換アダプターもご準備ください。使用ソフトによりWi-Fi環境を必要とする場合も、ポケットWi-Fi等をご準備ください。
  - (4) 応答(Q&A): 質問者によるQ&Aは1問のみ。質問形式はWh- questionのみとする。
    - ※質問を聞き返すことも可能だが、聞き返しは1回までとする。質問終了後、聞き返しの時間も含めて1分以内に答え始めること。
    - ※決勝ラウンドでは他の決勝出場チームからの追加質問も受け付け、審査の対象とする。  
「質問者」による質問終了後30秒以内・1問のみとする。  
他チームからの質問者については、発表チームが選ぶものとする。
    - ※英語を母語とする生徒と英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒は、応答(Q&A)の回答をしないこと。

## 8 審査基準

①現状分析(Analysis)	5点	データに基づき現状を的確に把握しているか
②提示内容(Plan)	10点	提案に新規性、創造性があるか (Creativity)
③提案効果(Effects)	10点	課題解決は図られるか(Impact) 実現の可能性は高いか (Feasibility)
④構成(Organization & Logic)	10点	スライド等を用い展開が分かりやすく論理的か
⑤英語運用(English & Delivery)	10点	的確な表現を用い、明確に発話しているか
⑥応答(Q&A)	5点	質問に的確に答えられたか
合 計		50点

### ※「②提示内容」についての補足

**既存のシステム等を利用した内容の場合は、必ずそのことをプレゼンの中で触れること。既存のものをそのまま利用した提案の場合は新規性、創造性が低いと見なす。但し、既存のシステムを利用して新たな使い方等を提案した場合はこの限りではない。**

## 9 審査員 予選4名 決勝戦12名

10 時 程	8:30～	受付	
	8:50～	開会式	
	9:20～10:10	予選リーグ① (3会場に分けて実施)	1～4
	10:25～11:15	予選リーグ②	5～8
	11:30～12:20	予選リーグ③	9～12
	12:20～13:20	昼休み	
	13:20～	決勝リーグ進出チーム発表	
	13:40～14:25	決勝リーグ	1～3
	14:40～15:25	決勝リーグ	4～6
	15:55～16:15	閉会式	

11 参加費 1チームにつき3,000円  
※大会当日に受付で納入してください。動画審査時は所定の口座に振り込みとなります。

12 申込 出場申込書に必要事項を記入し、**4月24日(水)まで**に下記担当宛にメールで送信してください。メールを受信次第、3日以内に確認メールを返信します。  
また、申し込みに関する問い合わせは下記担当までお願いいたします。  
送信先：北海道高等学校文化連盟国際交流専門部事務局（北海道札幌東高等学校）勘野 雅恵  
TEL: 011-811-1919 / MAIL: miyabi0119@hokkaido-c.ed.jp

13 表彰 1～2位に優勝(準優勝)カップ+賞状、3～6位に賞状を授与。その他に奨励賞あり(3校)。

14 その他 (1) 地区大会の開催はありません。参加資格のある学校は出場可能です。  
(2) 上靴は必要ありません。外靴のまま会場にお入りください。  
(3) 出場しない部員、及び保護者の観覧は可能です。ただし、会場の関係で十分なスペースがない場合は、出場生徒の観覧を優先します。  
(4) 宿泊先の斡旋はありませんので、必要な場合は各校で手配をお願いします。  
(5) できるだけ公共交通機関等を使ってお越し下さい。**貸切バスを駐車するスペースはありませんので、利用される際は各校で業者と打ち合わせをお願いします。**

★ゴシック体になっている部分は、昨年度からの変更点及び新たに決定したものです。